

# 経営学部の履修について

## 1. 授業科目の区分

経営学部の授業区分は、共通教育科目、外国語科目、専門教育科目、教職科目に区分され、それぞれの分野で修得しなければならない単位数が学則や規程によって定められ、それに従って単位を修得することにより、卒業の要件を満たすこととなります（教職科目は、卒業要件単位に充当はされません）。

## 2. 卒業に必要な単位数

卒業に必要な単位数は以下の通りです。表記されている数字以上の単位を修得することが必要です。

共通教育科目				外国語科目	専門教育科目					合計
I	II	III	IV		必修	選択必修 I	選択必修 II	選択必修 III	選択	
2	8		8	10	18	14	6	4	50	124
	4									
22										

(注1) 担当教員が違っていても、同一名称の科目を重複して履修することはできません。

(注2) 単位を修得した科目は、再び履修することはできません。

### 3. 共通教育科目

共通教育科目は皆さんが民主的市民社会を担うにふさわしい基礎的教養を育成するために情報学部・国際学部・経営学部に通で置かれている科目で、以下の3つの目標を掲げています。

1. 現代社会を、過去からの人類の広い意味での文化の継承と革新という視点で見据えながら、グローバル/ローカル両面からとらえ、現代社会と自分自身の関わり方について考えることができる。
2. 持続可能な民主的市民社会につなげていくための現代的課題を把握し、問題点を発見し、その解決に意欲を持ち、解決する能力を培うことができる。
3. 問題解決に必要な具体的汎用能力を身につけることができる。

共通教育科目は以下の4つの科目群から成り立っており、それぞれで最低修得する単位数が決められています。また、総計では22単位の修得が必要となります。

#### I：キャリア形成基礎科目

キャリア形成のための基礎的素養を培う科目として「キャリア形成基礎」が置かれています。

#### II：学びの基礎科目

大学で学ぶにあたって、これまでの高等学校での学習の中で修得済みであることが期待されているものの、不十分なまま過ぎてしまった内容について、大学の初期の学習段階で補充するための科目群。

#### III：主として人間愛を育む科目

建学の精神「人間愛」を育む観点から、幅広い教養を培うための科目群（一部は教職課程の必修科目群）。

#### IV：主として社会的事象等に対する認識や態度を養う科目

社会的事象等に対する認識や態度を養い、各分野における課題を発見し、解決に向けて見通しを持ち、課題解決意欲を高めようとする科目群。

\*各科目群の1科目の単位数は2単位です。

\*Iの「キャリア形成基礎」は必修科目です。

\*IIとIIIの科目群を合わせた科目の中から、卒業までに最低8単位以上の修得が必要です。

\*IVの科目群の科目の中から、卒業までに最低8単位以上の修得が必要です。

群	科目	単位	開講セメスター				卒業要件単位
			1	2	3	4	
			1年次		2年次		
I	キャリア形成基礎	2	○	○			2単位必修
II	日本語表現基礎	2	○	○			II・III群で8単位以上
	数学基礎	2	○	○			
	自然科学基礎	2	○	○			
	近現代史基礎	2	○	○			
	地理学基礎	2	○	○			
III	哲学 ★	2	○	○			
	倫理学 ★	2	○	○			
	文化人類学	2	○	○			
	日本国憲法 ※	2	○	○			
	論理学	2	○	○			
	音楽	2	○	○			
	文学	2	○	○			
	美術	2	○	○			
	人間関係論	2	○	○			
	心理学 ★	2	○	○			
	スポーツ科学	2	○	○			
	スポーツ・健康演習 ※	2	○	○			
	総合科目 A*	2	(○)	(○)			
総合科目 B*	2	(○)	(○)				
IV	社会学入門	2		○	○		IV群で8単位以上
	経営学入門	2		○	○		
	経済学入門	2		○	○		
	法学入門	2		○	○		
	政治学入門	2		○	○		
	宗教学入門 ★	2		○	○		
	情報社会論	2		○	○		
	情報倫理とモラル	2		○	○		
	メディア論	2		○	○		
	数理思考の活かし方	2		○	○		
	技術と人間	2		○	○		
	生態系と人間	2		○	○		
	生命科学	2		○	○		
	現代社会のエネルギー論	2		○	○		
	現代社会のジェンダー論	2		○	○		
	現代社会の栄養論	2		○	○		
合 計							22単位

- (注) 1. ※印：教職課程必修科目  
2. ★印：教職課程「社会科・公民科」免許の「教科に関する専門的事項」（選択必修）  
【詳しくは「教職課程履修のてびき」を参照してください】  
3. 「総合科目 A」、「総合科目 B」については適宜、必要に応じて開講します（非開講の年度もあり）。  
4. 「スポーツ・健康演習」は屋外、屋内での活動を伴いますので、運動着、シューズ（屋内用、屋外用）を用意してください。屋内用シューズには、黄色い靴紐（売店で販売）をつけてください。  
不明な点は教員控室（体育館内）に問い合わせてください。

#### 4. 外国語科目

▽外国人留学生として入学した学生以外の皆さんは、卒業には、「英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」から各2単位ずつ合計6単位と、選択必修の英語科目の中から4単位以上を修得することが必要です。

▽外国人留学生として入学した学生の皆さんは、上記の英語科目のかわりに「日本語」科目から10単位を修得することが必要です。

▽英語以外の外国語科目（ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、コリア語）の履修も可能です。外国語科目（英語を含む）で卒業要件以上修得した科目の単位は、6単位を上限に専門選択科目の単位として充当することができます。

#### I. 英語

区分	科目名	単位	開講セメスター								卒業要件 単位	
			1	2	3	4	5	6	7	8		
			1年次		2年次		3年次		4年次			
外国語	Ⅰ	英語ⅠA	1	○								2
		英語ⅠB	1	○								
	Ⅱ	英語ⅡA	1		○							2
		英語ⅡB	1		○							
	Ⅲ	英語ⅢA	1			○	○					2
		英語ⅢB	1			○	○					
	選択 必修	応用英語A	2					○				4
		応用英語B	2					○				
		応用英語C	2						○			
		応用英語D	2						○			
日本語	日本語A	2	○								10	
	日本語B	2	○									
	日本語C	2		○								
	日本語D	2			○							
	日本語E	2				○						

※「英語ⅠA」「英語ⅠB」を履修する場合は、原則として両方の科目を同一セメスターで履修登録する必要があります（ただし、再履修は除く）。

※「英語ⅡA」「英語ⅡB」は、「英語ⅠA」「英語ⅠB」を修得後、履修可能です。

※「英語ⅡA」「英語ⅡB」を履修する場合は、原則として両方の科目を同一セメスターで履修登録する必要があります（ただし、再履修は除く）。

※「英語ⅢA」「英語ⅢB」は、「英語ⅡA」「英語ⅡB」を修得後、履修可能です。

## II. その他の外国語

区分	科目名	単位	開講セメスター											
			1	2	3	4	5	6	7	8				
			1年次		2年次		3年次		4年次					
外国語	選 択	ドイツ語Ⅰ	2	○	○									
		フランス語Ⅰ	2	○	○									
		スペイン語Ⅰ	2	○	○									
		中国語Ⅰ	2	○	○									
		韓国語Ⅰ	2	○	○									
		ドイツ語Ⅱ	2		○	○								
		フランス語Ⅱ	2		○	○								
		スペイン語Ⅱ	2		○	○								
		中国語Ⅱ	2		○	○								
		韓国語Ⅱ	2		○	○								
		ドイツ語Ⅲ	2			○								
		フランス語Ⅲ	2			○								
		スペイン語Ⅲ	2			○								
		中国語Ⅲ	2			○								
韓国語Ⅲ	2			○										

※ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語のそれぞれのⅠⅡⅢには順序性があります。Ⅰの単位を修得しないとⅡの履修ができません。Ⅱの単位を修得しないとⅢの履修ができません。

## 5. 専門教育科目

▽ 専門教育科目の「必修科目」18 単位、「選択必修科目Ⅰ」14 単位、「選択必修科目Ⅱ」6 単位、「選択必修科目Ⅲ」4 単位、「選択科目」50 単位以上を修得しなければなりません。

▽ 卒業要件以上に修得した専門選択必修科目の単位は専門選択科目に充当することができます。

▽ 他学部の専門教育科目は10 単位まで専門選択科目に充当することができます。

▽ 履修条件のある科目は次の通りです。

- A. 「ゼミナールⅠ」は、計48 単位以上修得後、履修可能です。
- B. 「ゼミナールⅡ」は、「ゼミナールⅠ」を修得後、履修可能です。
- C. 「卒業論文」は、「ゼミナールⅡ」を履修中または修得済の学生のみ履修可能で、卒業研究発表会で発表のうえ卒業論文（単著）を完成させて提出することで単位修得が可能です。卒業論文とは、4 年生が提出する論文です。自らでテーマを考え、何らかの新しい知見を得ることを目指して、ゼミナールの教員の指導を受けながら執筆を進めます。
- D. 「コンピュータ基礎演習」は、コンピュータの扱いにあまり慣れていない学生を対象として、授業の中でコンピュータを利用する演習科目（特に、「データ処理Ⅰ」、「プレゼンテーション」、「データベース作成」、「情報発信ツール活用演習」、「プログラミング」）を履修する前に、その準備のために履修してもらうことを想定した科目です。そのため、「コンピュータ基礎演習」は、それら5 つの科目のどれとも同時履修はできません。また、それら5 つの科目のいずれかの単位を修得した後に履修することはできません。
- E. 「データ処理Ⅱ」は、「データ処理Ⅰ」を修得後、履修可能です。
- F. 「マーケティング戦略」は、「マーケティング」を修得後、履修可能です。
- G. 「マーケティング・リサーチ演習」は、「マーケティング・リサーチ」を修得後、履修可能です。
- H. 「原価計算Ⅱ」は、「原価計算Ⅰ」を修得後、履修可能です。
- I. 「中級簿記」は、「基礎簿記演習」を修得後、履修可能です。

区分	科目	単位	開講 Semester								卒業要件単位	
			1	2	3	4	5	6	7	8		
			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次			
必修	知へのナビゲーション	2	○									18
	アカデミック・リテラシー	2		○								
	社会人基礎力演習	2			○							
	知の探究	2				○						
	ゼミナールⅠ	4					○					
	人間と経営学	2	○	○								
	基礎簿記演習	4		○	○							
選必Ⅰ	経営管理論	4		○	○							14
	経営戦略論	2			○	○						
	経営組織論	2			○	○						
	人間尊重と経営	2			○							
	マーケティング	2		○	○							
	経済学の基礎	2	○									
	企業会計	2	○	○								
	公共経営入門	2		○								
	公共経済入門	2			○							
	ビジネスと法A	2			○	○						
選必Ⅱ	データ処理Ⅰ	2	○	○							6	
	プレゼンテーション	2	○	○								
	統計の見方	2	○	○								
	問題解決技法入門	2	○	○								

区分	科目	単位	開講セメスター								卒業 要件 単位
			1	2	3	4	5	6	7	8	
			1年次		2年次		3年次		4年次		
選必 III	ビジネスソリューション演習	2							○		4
	キャリア開発研究	2								○	
	ゼミナールII	4							○		
選択	企業倫理	2				○					50
	組織デザイン論	2					○				
	環境と経営	2					○				
	国際地域論 A (アジア)	2					○				
	国際地域論 B (アメリカ)	2					○				
	国際地域論 C (ヨーロッパ)	2					○				
	起業論	2						○			
	産業心理学	2						○			
	人的資源管理論	2						○			
	人材開発論	2						○			
	組織行動論	2						○			
	e-ビジネス	2						○			
	ビジネスモデル設計演習	2						○			
	マーケティング戦略	2			○	○					
	消費者行動論	2				○					
	マーケティング・リサーチ	2					○				
	マーケティング・リサーチ演習	2						○			
	マーケティング戦略事例研究	2						○			
	流通論	2					○				
	英語文献研究	2					○	○			
	中小企業経営論	2						○			
	キャリアコンサルティング	2				○					
	日本経済論	2				○					
	企業と市場の経済 (ミクロ経済)	2		○	○						
	国と国の経済 (マクロ経済)	2			○						
	ファイナンス	2			○						
	ファイナンスとコーポレートガバナンス	2					○				
	経済データ分析	2						○			
	財務会計論	4			○	○					
	原価計算 I	2			○						
	原価計算 II	2				○					
	中級簿記	2				○					
	財務諸表分析演習	2				○	○				
税務会計	2					○					
連結会計	2					○					
アカウンティング演習 A	2					○					
アカウンティング演習 B	2						○				

区分	科目	単位	開講セメスター								卒業 要件 単位
			1	2	3	4	5	6	7	8	
			1年次		2年次		3年次		4年次		
選択	管理会計論	4						○			50
	監査論	2						○			
	行政学	2		○							
	公共経営論	2			○						
	公共思想論	2			○						
	NPO・ボランティアの理論	2			○						
	公共経済学	2				○					
	行政評価	2				○					
	公会計	2					○				
	地域経営論	2					○				
	非営利組織論	2					○				
	情報公共論	2					○				
	社会福祉論	2						○			
	福祉医療マネジメント論	2						○			
	公共経営演習 A	2			○						
	公共経営演習 B	2				○					
	公共経営演習 C	2					○				
	公共経営演習 D	2						○			
	公共経営実地演習	4						○			
	社会心理学	2			○						
	政策科学	2				○					
	政策科学演習	2					○				
	経営基礎数学	2	○								
	統計の分析と利用	2		○							
	統計データの扱い方	2			○	○					
	多変量の統計データ解析	2				○					
	問題発見技法	2			○						
	スケジューリング	2			○						
	生産システム	2				○					
	ネットワークモデル分析	4				○					
	シミュレーションモデル分析 A	2				○					
	シミュレーションモデル分析 B	2					○				
	最適化モデル分析	4					○				
	問題解決技法演習	2						○			
意思決定科学	4						○				
ロジスティクス	2						○				
コンピュータ基礎演習	2	○									
情報発信ツール活用演習	2	○	○								
データベース作成	2		○	○							
プログラミング	2				○						



区分	科目	単位	開講セメスター								卒業 要件 単位	
			1	2	3	4	5	6	7	8		
			1年次		2年次		3年次		4年次			
選択	データ処理Ⅱ	2		○	○							50
	情報化戦略	2			○							
	情報技術演習 A	2				○						
	情報技術演習 B	2				○						
	ビジネスと法B	2			○	○						
	ビジネスと法C	2					○	○				
	労働法	2						○				
	行政法	2						○				
	経営学特論 A	2			○							
	経営学特論 B	2				○						
	職業・キャリア指導	2				○						
	海外研修	2		○	○							
	インターンシップ	2				○						
	卒業論文	4									○	

## 6. 他学部開講科目

経営学部の学生の皆さんは、他学部（情報学部・国際学部・健康栄養学部）の授業科目を履修することができます。履修を希望する場合には、その科目が経営学部の学生に開講されているかどうか、時間割で事前に確認してください。なお、他学部の専門教育科目の修得単位は10単位まで、専門選択科目に充当することができます。

## 7. 特定有資格者に対する単位認定

各種検定試験の合格者、および指定された基準以上の成績修得者は、申請により指定科目の単位が認定されます。詳細は、「経営学部特定有資格者に対する単位認定細則」をご覧ください。

## 8. 履修単位数

1学期に履修登録できる単位数は、共通教育科目、外国語科目、専門教育科目をあわせ**24単位以内**と定められています（卒業論文を除く）。

## 9. 履修単位数制限緩和

前学期の成績で「AA」評価および「A」評価を12単位以上修得した学生の皆さんについては、履修制限を緩和します。26単位まで履修することができます。

## 10. 勉学状況にともなう指導勧告

勉学意欲が著しく低いと判断される学生（休学者を除く）に対し、学部教務委員会が次の措置をとります。下記判断基準に準じ、学生に勉学態度を改善するように警告を発し、保証人にも連絡することがあります。警告が連続して発せられた場合、保証人および本人と面談することがあります。また、判断基準が適用されない場合でも、学科の判断により指導が必要とされる場合は、保証人および本人に連絡し、面談を実施することがあります。

### 判断基準

- 1～4セメスター終了時：それぞれのセメスターで12単位未満
  - 5セメスター終了時：12単位未満、または総修得単位数64単位未満
  - 6セメスター終了時：12単位未満、または総修得単位数84単位未満
  - 7セメスター終了時以降：12単位未満、または総修得単位数104単位未満
- ただし、総修得単位数104単位以上の学生は該当しない。

## 11. 教職課程の履修

「高等学校教諭一種免許状（商業）」の教育職員免許状が取得可能です。登録方法や必要な費用などは、「教職課程履修のてびき」を参照してください。